

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2017-197261

(P2017-197261A)

(43) 公開日 平成29年11月2日(2017.11.2)

(51) Int.Cl. F 1 テーマコード (参考)
B 6 5 D 8 3 / 2 0 (2 0 0 6 . 0 1) B 6 5 D 8 3 / 2 0 1 0 0 3 E 0 1 4

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2016-91627 (P2016-91627)
 (22) 出願日 平成28年4月28日 (2016. 4. 28)

(71) 出願人 000006909
 株式会社吉野工業所
 東京都江東区大島3丁目2番6号
 (74) 代理人 100147485
 弁理士 杉村 憲司
 (74) 代理人 100154003
 弁理士 片岡 憲一郎
 (72) 発明者 上村 英夫
 大阪府茨木市宇野辺1丁目6番9号 株式
 会社吉野工業所 大阪工場内
 Fターム(参考) 3E014 PC03 PC08 PD01 PE14

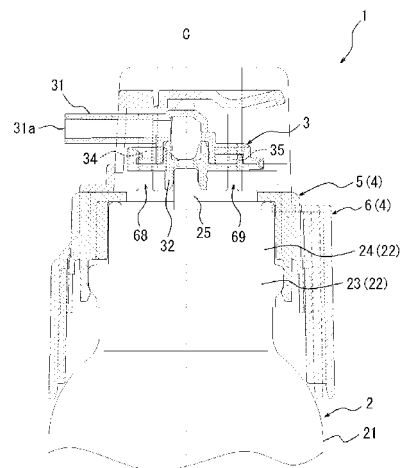
(54) 【発明の名称】 吐出具

(57) 【要約】

【課題】ステムに対して押し下げ方向の力を真っ直ぐに伝えることで内容物の吐出量のバランスを安定させることが可能であり、また、エアゾール容器への装着も容易な吐出具を提供する。

【解決手段】エアゾール容器2のステム25に接続されるステム接続部32及び吐出筒31を有するノズル体3と、ノズル体3を取り囲むカバー体4と、を備え、ノズル体3は、前方ガイドリブ34及び後方ガイドリブ35を有し、カバー体4は、一对のガイド壁63を有し、ガイド壁63はステム25の押し下げ方向と平行に延びるとともに前方ガイドリブ34及び後方ガイドリブ35がそれぞれ摺動自在に嵌り込む前方ガイド溝68及び後方ガイド溝69を有し、ガイド壁63はそれぞれ、前方ガイド溝68及び後方ガイド溝69の後方側にそれぞれ隣接し、ノズル体3をカバー体4に装着する際に幅方向外側に弾性変形可能な前方弾性片70及び後方弾性片71を有する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

エアゾール容器のステムに接続されるステム接続部及び該ステム接続部に連通する吐出筒を有し、前記ステムの押し下げによりエアゾール容器に収容された内容物を前記吐出筒の先端から吐出可能としたノズル体と、

前記ノズル体を取り囲むとともに前記エアゾール容器に装着されるカバー体と、を備え、

前記ノズル体は、該ノズル体の左右両側においてそれぞれ幅方向外側に突出する前方ガイドリブ及び後方ガイドリブを有し、

前記カバー体は、前記ノズル体の左右両側に位置する一対のガイド壁を有し、

前記ガイド壁はそれぞれ、前記ステムの押し下げ方向と平行に延びるとともに前記前方ガイドリブ及び後方ガイドリブがそれぞれ摺動自在に嵌り込む前方ガイド溝及び後方ガイド溝を有し、

前記ガイド壁はそれぞれ、前記前方ガイド溝及び後方ガイド溝の後方側にそれぞれ隣接し、前記ノズル体を前記カバー体に装着する際に幅方向外側に弾性変形可能な前方弾性片及び後方弾性片を有することを特徴とする吐出具。

【請求項 2】

前記前方弾性片及び後方弾性片はそれぞれ、後方側から前方側に向かって幅方向内側に傾斜する傾斜面を有する、請求項 1 に記載の吐出具。

【請求項 3】

前記ノズル体は、前記前方ガイドリブ及び後方ガイドリブのそれぞれの幅方向内側に貫通孔を有し、該前方ガイドリブ及び後方ガイドリブが、それぞれ幅方向内側に向けて弾性変位可能である、請求項 1 又は 2 に記載の吐出具。

【請求項 4】

前記前方ガイドリブが設けられている位置における前記ノズル体の幅が、左右両側の前記後方弾性片の間隔よりも小さい、請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載の吐出具。

【請求項 5】

前記前方ガイドリブのリブ幅が、前記後方ガイド溝の溝幅よりも大きい、請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載の吐出具。

【請求項 6】

前記前方ガイドリブが前記ステム接続部よりも前方側に位置し、前記後方ガイドリブが、前記ステム接続部よりも後方側に位置する、請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の吐出具。

【請求項 7】

前記カバー体が、前記エアゾール容器のマウンティングカップに装着される固定盤と、該固定盤を取り囲む周壁を有するカバー部材とで構成され、

該カバー部材は、前記周壁の内面から突出し、前記固定盤に形成されたスリットに入り込む位置決めリブを有する、請求項 1 ~ 6 の何れか一項に記載の吐出具。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、内容物を収容するエアゾール容器に装着される吐出具に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、内容物とともに加圧ガスを収容しておき、ステムを押し下げることで内容物を外部に吐出させるようにしたエアゾール容器としては、1つの容器内に一の内容物を収容するとともに1本のステムを有するシングルタイプの容器や、シングルタイプの容器を左右に並べて1組とした二連式タイプの容器（例えば特許文献1）の他、1つの容器内に2種類の内容物を別個に収容するとともに2本のステムを有する容器が知られている。そして、このようなエアゾール容器には、内容物の容易に行うようにするための吐出具が装着さ

10

20

30

40

50

れている。

【0003】

例えば特許文献1には、エアゾール容器に装着される固定盤と、固定盤に取付けられるカバー部材と、ヒンジ部を介してカバー部材と一体に設けられるノズルとを備え、ノズルを押し下げることでエアゾール容器のステムを介してノズルの吐出口から内容物を吐出する構成のエアゾール容器用吐出口が記載されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2014-234193号公報

10

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、特許文献1に記載の吐出口では、ノズルがヒンジを介してカバー部材と一体に連結され、ヒンジを支点としたノズルの揺動変位によってステムを押し下げる構成としているため、押し下げが進むにつれてノズルはヒンジを支点に前方に傾斜していくことになる。そのため、ステムに対して押し下げ方向の力を真っ直ぐに伝えることが難しく、ノズル及びステムの動作が不安定になり易かった。その結果、特に、2本のステムから異なる種類の内容物を同時に吐出させる容器においては、2種類のステムの押し下げ量がばらつき、内容物の吐出量のバランス（割合）が不安定になり易いという問題があった。また、吐出口をエアゾール容器に装着する作業を容易化して、作業性を向上させることも要望されている。

20

【0006】

それゆえ、本発明は、ステムに対して押し下げ方向の力を真っ直ぐに伝えることで内容物の吐出量のバランスを安定させることが可能であり、また、エアゾール容器への装着も容易な吐出口を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明は上記課題を解決するためになされものであり、本発明の吐出口は、エアゾール容器のステムに接続されるステム接続部及び該ステム接続部に連通する吐出筒を有し、前記ステムの押し下げによりエアゾール容器に収容された内容物を前記吐出筒の先端から吐出可能としたノズル体と、

30

前記ノズル体を取り囲むとともに前記エアゾール容器に装着されるカバー体と、を備え、

前記ノズル体は、該ノズル体の左右両側においてそれぞれ幅方向外側に突出する前方ガイドリブ及び後方ガイドリブを有し、

前記カバー体は、前記ノズル体の左右両側に位置する一对のガイド壁を有し、

前記ガイド壁はそれぞれ、前記ステムの押し下げ方向と平行に延びるとともに前記前方ガイドリブ及び後方ガイドリブがそれぞれ摺動自在に嵌り込む前方ガイド溝及び後方ガイド溝を有し、

40

前記ガイド壁はそれぞれ、前記前方ガイド溝及び後方ガイド溝の後方側にそれぞれ隣接し、前記ノズル体を前記カバー体に装着する際に幅方向外側に弾性変形可能な前方弾性片及び後方弾性片を有することを特徴とする。

【0008】

なお、本発明の吐出口にあつては、前記前方弾性片及び後方弾性片はそれぞれ、後方側から前方側に向かって幅方向内側に傾斜する傾斜面を有することが好ましい。

【0009】

また、本発明の吐出口にあつては、前記ノズル体は、前記前方ガイドリブ及び後方ガイドリブのそれぞれの幅方向内側に貫通孔を有し、該前方ガイドリブ及び後方ガイドリブが、それぞれ幅方向内側に向けて弾性変位可能であることが好ましい。

50

【 0 0 1 0 】

また、本発明の吐出具にあっては、前記前方ガイドリブが設けられている位置における前記ノズル体の幅が、左右両側の前記後方弾性片の間隔よりも小さいことが好ましい。

【 0 0 1 1 】

また、本発明の吐出具にあっては、前記前方ガイドリブのリブ幅が、前記後方ガイド溝の溝幅よりも大きいことが好ましい。

【 0 0 1 2 】

また、本発明の吐出具にあっては、前記前方ガイドリブが前記ステム接続部よりも前方側に位置し、前記後方ガイドリブが、前記ステム接続部よりも後方側に位置することが好ましい。

10

【 0 0 1 3 】

また、本発明の吐出具にあっては、前記カバー体が、前記エアゾール容器のマウンティングカップに装着される固定盤と、該固定盤を取り囲む周壁を有するカバー部材とで構成され、

該カバー部材は、前記周壁の内面から突出し、前記固定盤に形成されたスリットに入り込む位置決めリブを有することが好ましい。

【 発明の効果 】

【 0 0 1 4 】

本発明によれば、ステムに対して押し下げ方向の力を真っ直ぐに伝えることで内容物の吐出量のバランスを安定させることが可能であり、また、エアゾール容器への装着も容易な吐出具を提供することが可能となる。

20

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 5 】

【 図 1 】本発明の一実施形態に係る吐出具をエアゾール容器に装着した状態を示す、側面側から見た断面図である。

【 図 2 】図 1 の吐出具におけるノズル体を示す図であり、(a) は成形後の展開状態を示す平面図であり、(b) は側面図であり、(c) は上側部材と下側部材を嵌合させた使用状態を示す側面図である。

【 図 3 】図 1 の吐出具における固定盤を示す図であり、(a) は平面図であり、(b) は側面側から見た断面図である。

30

【 図 4 】固定盤の他の例を示す図であり、(a) は平面図であり、(b) は側面側から見た断面図である。

【 図 5 】(a) は図 1 の吐出具におけるカバー部材を示す側面側から見た断面図であり、(b) は平面図(半図)である。

【 図 6 】(a) は図 1 の吐出具におけるカバー部材の後方開口からノズル体を挿入する様子を示す側面側から見た断面図であり、(b) は図 1 の吐出具におけるカバー部材の平面図である。

【 図 7 】(a)、(b) は図 1 の吐出具におけるカバー部材の後方開口からノズル体を挿入する様子を示す、一部を断面で示した平面図である。

【 図 8 】図 1 の吐出具におけるカバー部材を適切な位置で固定盤に装着するための構成を説明するための断面図である。

40

【 図 9 】(a) は図 1 の吐出具におけるカバー部材に対してノズル体を装着した様子を一部断面で示す平面図であり、(b) は図 1 のエアゾール容器に装着した吐出具を一部断面で示す正面図である。

【 図 1 0 】図 1 の吐出具において操作片を押し下げた状態を示す断面図である。

【 発明を実施するための形態 】

【 0 0 1 6 】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づき詳細に説明する。なお、本明細書、特許請求の範囲及び要約書において「前方」とは、ノズル体の吐出筒の先端(吐出口)が位置する側であり、「後方」とは、その反対側である。また、「左側」、「右側」とは、前方側か

50

ら後方側に向かって見る際の左右方向をいう。そして「上方」とは、図1において、エアゾール容器に対してノズル体が位置する側であり、「下方」とは、その反対側である。

【0017】

図1に示すように、本発明の一実施形態である吐出具1は、エアゾール容器2に装着されるものであり、ステム25に接続されて吐出筒31の先端31aから内容物を吐出するノズル体3と、ノズル体3を取り囲むとともにエアゾール容器2に装着されるカバー体4とを備える。本例においてカバー体4は、固定盤5と、カバー部材6とで構成されている。

【0018】

エアゾール容器2は、例えば合成樹脂製となる有底円筒状の容器本体21に、例えば金属製となるマウンティングカップ22の外縁を巻き締めして固着したものであって、容器本体21の内側には2種類の内容物が別個に収容されている。本例のマウンティングカップ22は、容器本体21に巻き締めした円環状部23と、円環状部23の上方に位置し、円周状の側面の一部を平面状にしたマウンティングカップ本体部24とを有している。またエアゾール容器2は、それぞれの内容物の収容空間につながる総計2つのステム25を有していて、2つのステム25は、マウンティングカップ本体部24から上方に向けて突出している。

【0019】

ノズル体3は、図2(a)~(c)にも示すように、吐出筒31が設けられた上側部材3aと、ステム25に接続される一対のステム接続部32が設けられた下側部材3bとを、薄肉状に形成されたヒンジ部33を介して一体に連結したものである。本例では、吐出筒31に、各ステム25からの内容物がそれぞれ通過する2本の流路が形成されている。ノズル体3は図2(a)、(b)に示すような展開状態で射出成形等により成形され、ヒンジ部33に沿って折り曲げて上側部材3aと下側部材3bとを嵌合させることで、図2(c)に示す使用状態となる。なお、図1等に示すノズル体3の断面図は、内容物の流路が理解し易い様、上側部材3aは吐出筒31に設けられた2つの内容物流路のうちの一方の流路の中心軸線を通る切断面を示し、下側部材3bは2つのステム接続部32のうちの一方の中心軸線を通る切断面を示している。

【0020】

ノズル体3は、図1及び図2(c)に示す使用状態において、上側部材3aと下側部材3bの間に、各ステム接続部32と吐出筒31とを連通させる2本の内容物の流路が区画形成されている。下側部材3bに設けられた一対のステム接続部32は、それぞれ円筒状に形成されてステム25に嵌合する。

【0021】

また下側部材3bの左右両側にはそれぞれ、ノズル体3の幅方向外側に向けて突出する前方ガイドリブ34及び後方ガイドリブ35が設けられている。本例において前方ガイドリブ34のリブ幅w1は、後方ガイドリブ35のリブ幅w2よりも大きくなっている。

【0022】

また本例において、前方ガイドリブ34は後方ガイドリブ35よりも幅方向内側(左右方向の中心側)に位置する。すなわち、前方ガイドリブ34が設けられている位置におけるノズル体3の幅w3は、後方ガイドリブ35が設けられている位置における幅w4よりも小さくなっている。

【0023】

本例において、左右両側の前方ガイドリブ34の内側には、貫通孔36が形成されており、これにより、前方ガイドリブ34は、貫通孔36側に向けて、すなわちノズル体3の幅方向内側に向けて弾性変位可能となっている(図7(b)参照)。同様に、後方ガイドリブ35の内側には、貫通孔37が形成されており、これにより、後方ガイドリブ35は、貫通孔37側すなわちノズル体3の幅方向内側に向けて弾性変位可能となっている。図2(c)に示すノズル体3の使用状態において、前方ガイドリブ34は、一対のステム接続部32の中心よりも前方側に配置され、後方ガイドリブ35は、一対のステム接続部3

10

20

30

40

50

2の中心よりも後方側に配置されている。

【0024】

下側部材3bの左右両側には、後方側に向けて水平に延びるとともに、後部において下方に屈曲する支持片38がそれぞれ設けられている。また、ノズル体3の上側部材3aには、上方に突出する一对の当接壁39が設けられている。なお、本例では、図示のようにノズル体3を左右対称の形状としているが、ノズル体3は必ずしも完全な左右対称形状である必要はない。

【0025】

図1に示すように、本例のカバー体4は、エアゾール容器2のマウンティングカップ22に装着される固定盤5と、固定盤5に着脱自在に装着されるカバー部材6とで構成されている。

10

【0026】

固定盤5は、図1に示すように、エアゾール容器2のマウンティングカップ22に装着される。また図3(a)、(b)に示すように、固定盤5は、中央部に開口51aを設けた上壁51と、マウンティングカップ本体部24の側面を取り囲む略円筒状の側壁52とを備えている。本例の側壁52には、3本の回転止めリブ52aが設けられており、マウンティングカップ本体部24における平面状の部位に対向して配置することで、マウンティングカップ本体部24に対して固定盤5が回転しないようにしている。なお、回転止めリブ52aの本数は特に限定されるものではない。

【0027】

20

また側壁52の下部には、径方向外側に向けて延在するフランジ53を設けていて、フランジ53の下部には、円環状部23を取り囲んで円環状部23に抜け止め保持される嵌合壁54を設けている。またフランジ53の外縁部には、下方に延在する円筒状の外側壁55を設けている。

【0028】

側壁52の外面には、カバー部材6を固定盤5に装着する際の見印となる目印凸部56が設けられている。当該目印凸部56は、中央の回転止めリブ52aに対応する位置と、当該中央の回転止めリブ52aの位置から周方向に180度ずれた位置にそれぞれ設けられている。また、外側壁55には、一对の目印凸部56に対応する位置にそれぞれスリット57が形成されており、スリット57から周方向に90度ずれた位置の2か所に係合突起58が設けられている。

30

【0029】

なお、マウンティングカップ本体部24に対する固定盤5の回転を抑制するための構成は、回転止めリブ52aに限定されるものではなく、例えば、図4(a)、(b)に示すように、側壁52に平坦部52bを設けてもよい。この場合にも、マウンティングカップ本体部24における平面状の部位に合わせて側壁52の平坦部52b配置することで、固定盤5の回転を抑制することができる。

【0030】

カバー部材6は、図5(a)、(b)に示すように、エアゾール容器2の上部、固定盤5及びノズル体3を取り囲む筒状の周壁61と、周壁61の上部に連なる頂壁62と、ノズル体3の左右両側に位置する一对のガイド壁63とを有する。周壁61の内面には、固定盤5に形成された一对のスリット57にそれぞれ入り込む位置決めリブ61aが設けられている。なお、本例のカバー部材6は、図1に示す状態から180度回転させた状態でも固定盤5に装着することができる構成としている。

40

【0031】

周壁61の前方側には、吐出筒31の先端31aを前方に突出させる前方開口64が形成されており、前方開口64の下方には、目印凸部56が嵌り込んで装着を確認するための目印開口61bが形成されている。周壁61の後方側には、ノズル体3を挿入可能な後方開口65が形成されている。周壁61には、後方開口65の下方で、径方向外側に突出する後方凸部61cが形成されている。また、後方開口65の下方で後方凸部61cの上

50

部から水平に延びる支持壁 6 1 d には、目印凸部 5 6 が嵌り込む収容凹部 6 1 e が形成されている。

【 0 0 3 2 】

周壁 6 1 の左右両側には、固定盤 5 の係合突起 5 8 に係合する側部開口 6 1 f が形成されている。側部開口 6 1 f は、溝 6 1 g により弾性変形可能に形成された弾性部 6 1 h に形成されている。また、前方開口 6 4 の上方には、一对のガイド壁 6 3 の間で、頂壁 6 2 に対して薄肉状のヒンジ部 6 6 を介して揺動自在に連結された操作片 6 7 が設けられている。内容物を吐出する際には、この操作片 6 7 を上方から押し下げることで操作片 6 7 の下面が当接壁 3 9 に当接してノズル体 3 を押し下げる。

【 0 0 3 3 】

ガイド壁 6 3 は、ノズル体 3 を挟むように左右両側に位置するものであり、それぞれのガイド壁 6 3 には、前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 がそれぞれ摺動自在に嵌り込む前方ガイド溝 6 8 及び後方ガイド溝 6 9 が形成されている。前方ガイド溝 6 8 及び後方ガイド溝 6 9 は、ガイド壁 6 3 の下端から、ステム 2 5 の押し下げ方向と平行な上下方向（中心軸線 C と平行な方向）に延びる切り欠き状に形成されている。前方ガイド溝 6 8 の溝幅 w 5 は、後方ガイド溝 6 9 の溝幅 w 6 よりも大きくなっている。

【 0 0 3 4 】

ガイド壁 6 3 は、前方ガイド溝 6 8 及び後方ガイド溝 6 9 それぞれの後方側に隣接して設けられた前方弾性片 7 0 及び後方弾性片 7 1 を有する。前方弾性片 7 0 及び後方弾性片 7 1 は、幅方向外側に弾性変形可能であり、ノズル体 3 の装着の際に弾性変形して、ノズル体 3 のカバー部材 6 に対するスムーズな装着を可能にするものである。前方弾性片 7 0 は、後方弾性片 7 1 よりも幅方向内側に位置する。前方弾性片 7 0 及び後方弾性片 7 1 にはそれぞれ、後方側から前方側に向けて、幅方向内側に傾斜する傾斜面 7 0 a、7 1 a が設けられている。なお、カバー部材 6 の傾斜面 7 0 a、7 1 a に代えて、また、傾斜面 7 0 a、7 1 a とともに、前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 の前端部に傾斜面を設けることで、スムーズにノズル体 3 を挿し込めるようにしてもよい。

【 0 0 3 5 】

ここで、上記構成の吐出具 1 をエアゾール容器 2 に装着する際には、予めノズル体 3 をカバー部材 6 に装着（セット）したものを、エアゾール容器 2 に装着した固定盤 5 に装着する。

【 0 0 3 6 】

ノズル体 3 をカバー部材 6 に装着する際には、図 6 (a)、図 7 (a) に示すように、カバー部材 6 の後方開口 6 5 から、左右両側のガイド壁 6 3 間にノズル体 3 を挿入し、前方側に向けて押し込んでいく。

【 0 0 3 7 】

ノズル体 3 を挿し込む過程において、図 7 (b) に示すように、左右の前方ガイドリブ 3 4 がそれぞれ前方弾性片 7 0 の傾斜面 7 0 a に当接することにより、前方弾性片 7 0 が幅方向外側に開くように弾性変形する。さらにノズル体 3 を前方側に押し込み、前方ガイドリブ 3 4 が前方ガイド溝 6 8 に嵌り込むと、前方弾性片 7 0 の形状が復元して元の位置に戻る。同様に、ノズル体 3 を挿し込む過程において後方ガイドリブ 3 5 が後方弾性片 7 1 の傾斜面 7 1 a に当接することにより後方弾性片 7 1 が幅方向外側に開くように弾性変形し、後方ガイドリブ 3 5 が後方ガイド溝 6 9 に嵌り込むと、後方弾性片 7 1 の形状が復元して元の位置に戻る。前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 がそれぞれ前方ガイド溝 6 8 及び後方ガイド溝 6 9 に嵌り込むと、ノズル体 3 のカバー部材 6 に対する前後方向の移動が停止され、ノズル体 3 の装着が完了する（図 9 (a) 参照）。

【 0 0 3 8 】

ノズル体 3 を装着したカバー部材 6 を固定盤 5 に装着する際には、エアゾール容器 2 に予め取り付けられた固定盤 5 の上方からカバー部材 6 を被せ、何れかの目印凸部 5 6 と、カバー部材 6 の目印開口 6 1 b の方向を合わせて、固定盤 5 の係合突起 5 8 が側部開口 6 1 f に係合するまで押し下げる。このように固定盤 5 の目印凸部 5 6 と、カバー部材 6 の目印

10

20

30

40

50

開口 6 1 b の方向を合わせることで、容易に位置合わせを行うことができる。固定盤 5 に対するカバー部材 6 の周方向位置が合っていない場合には、図 8 に示すように、位置決めリブ 6 1 a の下端が外側壁 5 5 の上端に当接するため、誤った位置での取り付けを防止することができる。

【 0 0 3 9 】

吐出具 1 を装着したエアゾール容器 2 から内容物を吐出する際には、図 1 0 (a)、(b) に示すように、操作片 6 7 を押し下げてノズル体 3 及びステム 2 5 を容器本体 2 1 に対して下方に移動させる。ノズル体 3 は、前方ガイド溝 6 8 及び後方ガイド溝 6 9 にそれぞれ摺動自在に嵌り込む前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 によって、ステム 2 5 の押し下げ方向に真っ直ぐに移動する。これにより、各ステム 2 5 に対して押し下げ方向の力を真っ直ぐに伝えることができ、各ステム 2 5 から吐出される内容物のバランスを安定させることが可能となる。ノズル体 3 の動作安定性が向上し、2 本のステム 2 5 が共に押し下げ方向に真っ直ぐに押し下げられるため、各ステム 2 5 から適切な吐出量のバランスで内容物を吐出することができる。

10

【 0 0 4 0 】

以上のような構成を有する本実施形態の吐出具 1 にあっては、ガイド壁 6 3 に設けた前方弾性片 7 0 及び後方弾性片 7 1 が弾性変形することにより、ノズル体 3 をカバー部材 6 に対してスムーズに挿し込むことができるので、吐出具 1 の装着作業が容易となる。

【 0 0 4 1 】

また、本例では、前方弾性片 7 0 及び後方弾性片 7 1 に傾斜面 7 0 a、7 1 a を設けたことにより、ノズル体 3 を挿し込む際に前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 が前方弾性片 7 0 及び後方弾性片 7 1 に引っ掛かり難くなり、よりスムーズな挿し込みが可能となる。

20

【 0 0 4 2 】

また本例では、貫通孔 3 6、3 7 を設け、前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 を幅方向内側に弾性変位可能な構成としたことにより、カバー部材 6 に対するノズル体 3 の挿し込みがよりスムーズとなる。なお、貫通孔 3 6、3 7 を形成しない構成としてもよく、その場合には、前方弾性片 7 0 及び後方弾性片 7 1 の肉厚や長さ等を調整することで弾性変形し易くして、装着を容易にすることが好ましい。

【 0 0 4 3 】

また本例では、前方ガイドリブ 3 4 の位置におけるノズル体 3 の幅 w_3 (図 2 参照) は、前方弾性片 7 0 よりも後方側における左右両側のガイド壁 6 3 の間隔 (距離) w_7 、 w_8 (図 6 (b) 参照) よりも小さくなっている。これにより、前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 がそれぞれ傾斜面 7 0 a、7 1 a に当接するまでは、抵抗なくノズル体 3 を挿し込むことができる。すなわち、ノズル体 3 を挿し込む際に抵抗を受ける距離が短くなるので、ノズル体 3 の挿し込みがより容易となる。

30

【 0 0 4 4 】

また本例では、前方ガイドリブ 3 4 のリブ幅 w_1 は、後方ガイド溝 6 9 の溝幅 w_6 よりも大きくなっている。これにより、ノズル体 3 の挿し込み過程で前方ガイドリブ 3 4 が後方ガイド溝 6 9 に嵌り込む虞がないため、ノズル体 3 の挿入を、途中で停止することなくよりスムーズに行うことができる。

40

【 0 0 4 5 】

また、本例では、後方開口 6 5 から前方開口 6 4 に向けて、ノズル体 3 を吐出筒 3 1 の先端 3 1 a 側から挿入する構成としたことにより、吐出筒 3 1 の長さに関わらず容易にセットすることができる。

【 0 0 4 6 】

本例では、カバー部材 6 にノズル体 3 を装着した状態で、ノズル体 3 は左右方向の変位を両側のガイド壁 6 3 に規制され、また、前後方向の変位を前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 によって規制されるため、位置が安定する。これにより、カバー部材 6 を固定盤 5 に装着するだけで、容易にノズル体 3 のステム接続部 3 2 をステム 2 5 に嵌合さ

50

せることができる。また、カバー部材 6 にノズル体 3 を装着した状態で、吐出筒 3 1 の下面が前方開口 6 4 の開口縁下端に設けた前方支持部 6 4 a に当接して支持されるとともに、支持片 3 8 が支持壁 6 1 d に当接して支持される構成としている（図 8 参照）。これにより、カバー部材 6 にノズル体 3 を装着した状態において、カバー部材 6 からノズル体 3 が脱落することを防止することができるので、エアゾール容器 2 に対する装着が容易となる。

【 0 0 4 7 】

また本例では、前方ガイドリブ 3 4 は、一对のステム接続部 3 2 の中心よりも前方に配置され、後方ガイドリブ 3 5 は、一对のステム接続部 3 2 の中心よりも後方に配置されている。このように、ステム接続部 3 2 の中心から前後にずらした位置に前方ガイドリブ 3 4 及び後方ガイドリブ 3 5 をそれぞれ配置することで、ステム接続部 3 2 の真横に突起を設ける場合に比べて、ノズル体 3 の左右方向の幅を小さくすることができる。これにより、カバー部材 6 におけるノズル体 3 の挿し込み幅（対向するガイド壁 6 3 間の間隔 w_7 、 w_8 ）を小さく抑えることができる。一对のガイド壁 6 3 間の距離を狭くすることで、操作片 6 7 を押し下げる際に指を置く位置を左右方向の中央側に誘導することができる。これにより、2 本のステム 2 5 が均等に押し下げられ易くなるため、吐出量のバランスがさらに安定し易くなる。また、吐出具 1 全体の大型化も抑制することができる。

10

【 0 0 4 8 】

以上、図示例に基づき説明したが、本発明は上述の実施形態に限定されるものでなく、特許請求の範囲の記載範囲内で適宜変更することができるものであり、例えば、1 つの容器内に 2 種類の内容物を別個に収容するとともに 2 本のステムを有するエアゾール容器に限らず、1 つの容器内に 1 の内容物を収容するとともに 1 本のステムを有するシングルタイプのエアゾール容器や、シングルタイプの容器を左右に並べて 1 組とした二連式タイプのエアゾール容器にも適用可能である。

20

【 符号の説明 】

【 0 0 4 9 】

- 1 吐出具
- 2 エアゾール容器
- 3 ノズル体
- 3 a 上側部材
- 3 b 下側部材
- 4 カバ－体
- 5 固定盤
- 6 カバ－部材
- 2 1 容器本体
- 2 2 マウンティングカップ
- 2 3 円環状部
- 2 4 マウンティングカップ本体部
- 2 5 ステム
- 3 1 吐出筒
- 3 1 a 先端（吐出口）
- 3 2 ステム接続部
- 3 3 ヒンジ部
- 3 4 前方ガイドリブ
- 3 5 後方ガイドリブ
- 3 6、3 7 貫通孔
- 3 8 支持片
- 3 9 当接壁
- 5 1 上壁
- 5 1 a 開口

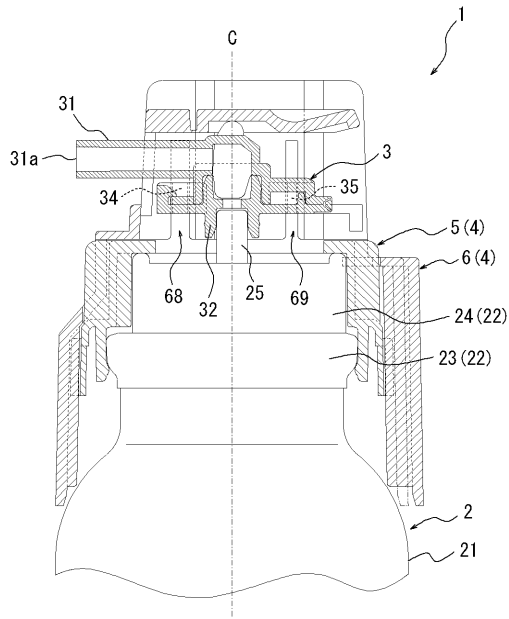
30

40

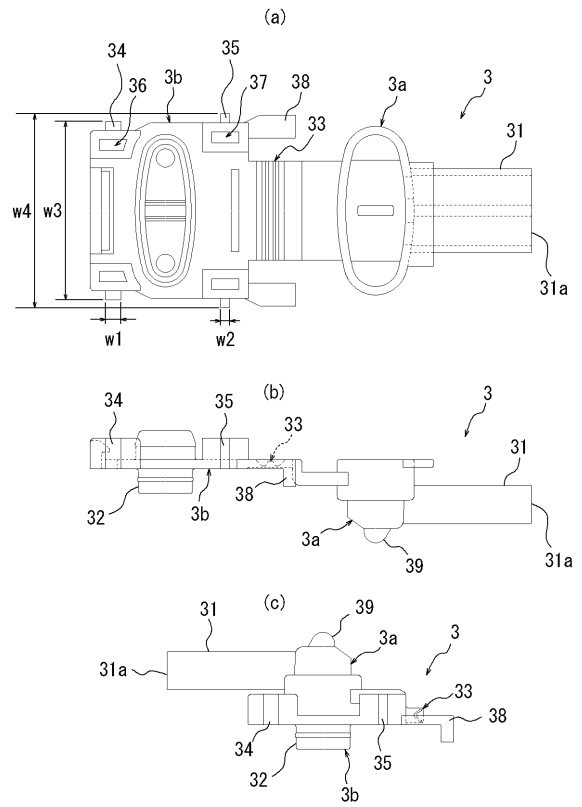
50

5 2	側壁	
5 2 a	回転止めリブ	
5 2 b	平坦部	
5 3	フランジ	
5 4	嵌合壁	
5 5	外側壁	
5 6	目印凸部	
5 7	スリット	
5 8	係合突起	
6 1	周壁	10
6 1 a	位置決めリブ	
6 1 b	目印開口	
6 1 c	後方凸部	
6 1 d	支持壁	
6 1 e	収容凹部	
6 1 f	側部開口	
6 1 g	溝	
6 1 h	弾性部	
6 2	頂壁	
6 3	ガイド壁	20
6 4	前方開口	
6 4 a	前方支持部	
6 5	後方開口	
6 5 a	後方支持部	
6 6	ヒンジ部	
6 7	操作片	
6 8	前方ガイド溝	
6 9	後方ガイド溝	
7 0	前方弾性片	
7 0 a	傾斜面	30
7 1	後方弾性片	
7 1 a	傾斜面	
w 1	前方ガイドリブのリブ幅	
w 2	後方ガイドリブのリブ幅	
w 3	前方ガイドリブ位置におけるノズル体の幅	
w 4	後方ガイドリブ位置におけるノズル体の幅	
w 5	前方ガイド溝の溝幅	
w 6	後方ガイド溝の溝幅	
w 7、w 8	ガイド壁間の間隔	
C	中心軸線	40

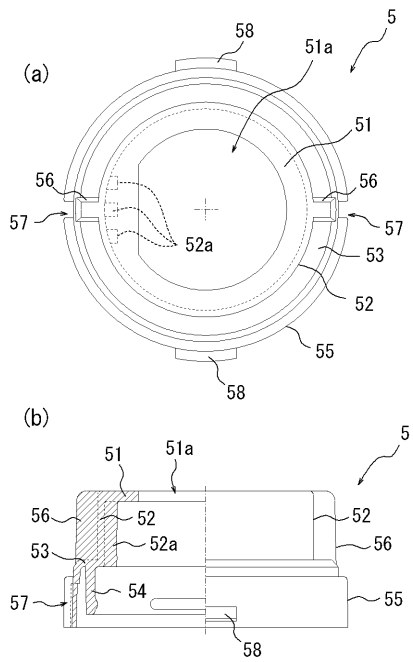
【 図 1 】



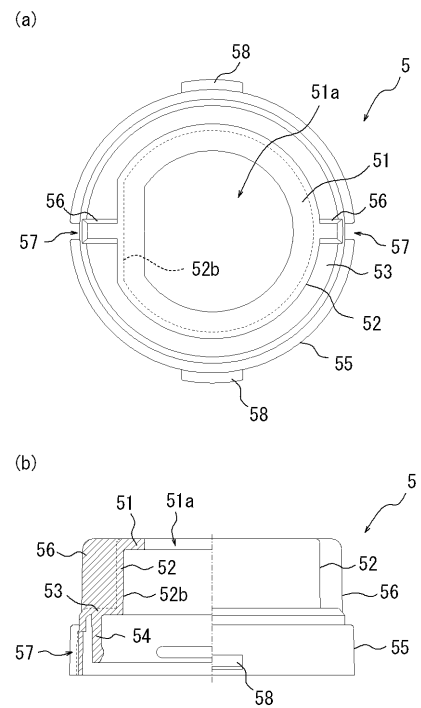
【 図 2 】



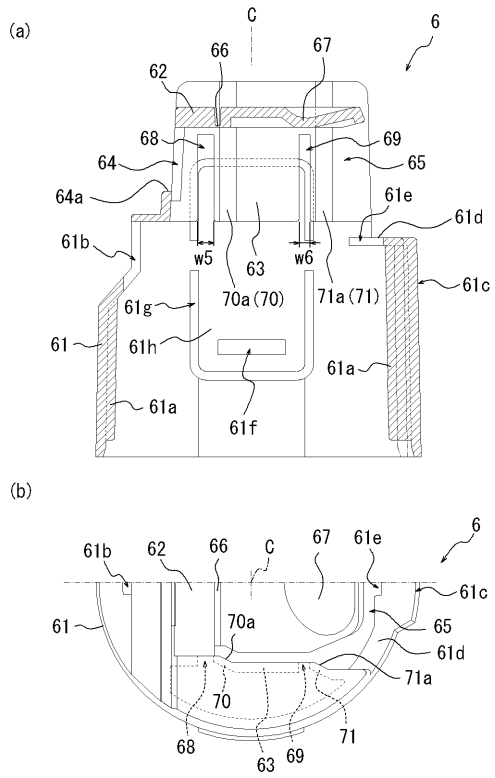
【 図 3 】



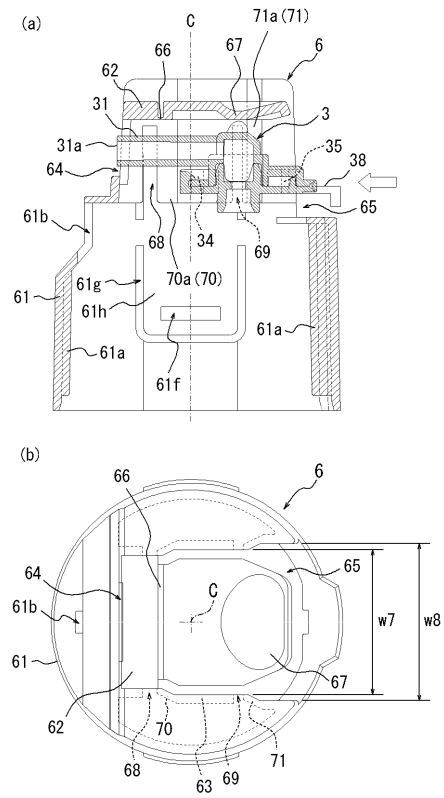
【 図 4 】



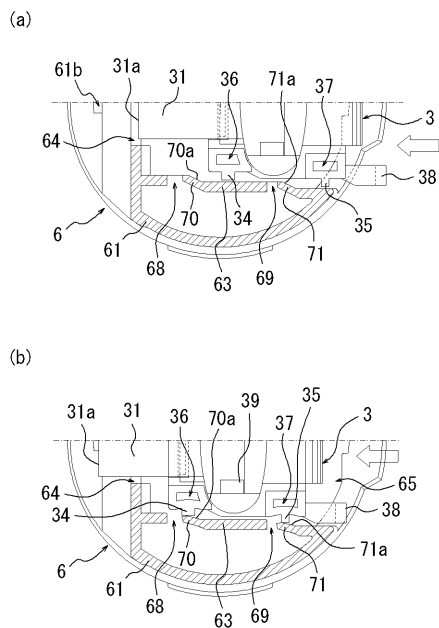
【 図 5 】



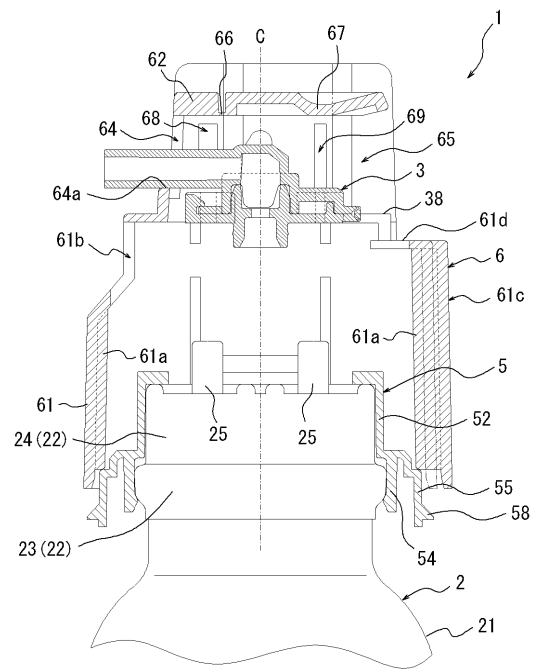
【 図 6 】



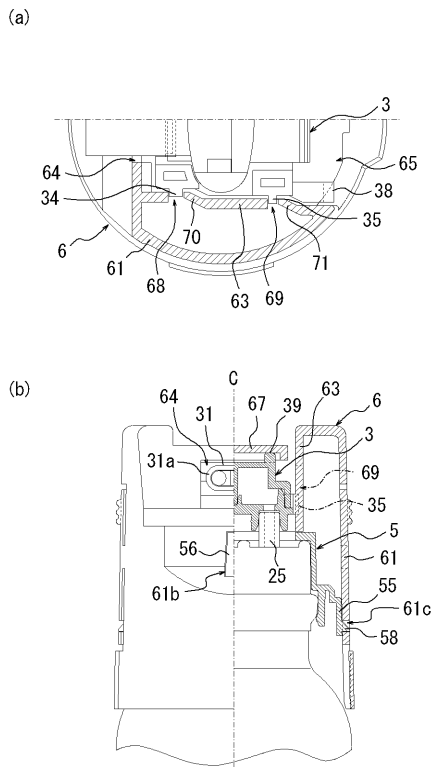
【 図 7 】



【 図 8 】



【 図 9 】



【 図 10 】

